

プログラムⅡ 動物と私たちの「いのち」は同じ

地球上には、私たち人間以外にも多くの動物が暮らしていますが、動物も人間と同じようにたったひとつの「いのち」を生きています。この「プログラムⅡ」では、動物と人間の「いのち」は同じであるということ学びます。

?

質問

「生きている」ってどんなこと？

息をしています

うんちを
します

心臓が動いています

ご飯を食べます
水を飲みます

ねむります

うごきます

血が流れています

?

質問

よりよく「生きる」ために必要なことは？

おなかいっぱい
食べたいです！

かじるための
木がほしいな

安全なところで眠り
たいです！

水をいっぱい
飲みたいなあ

高い場所
に登るのが
大好き

人間と一緒に散歩に行ったり、
遊んだりするのが大好きです！

きれいなところ
で暮らしたい

暑いのが
苦手です

?

質問

「こんなときには、動物はどんな気持ちになるでしょう？」

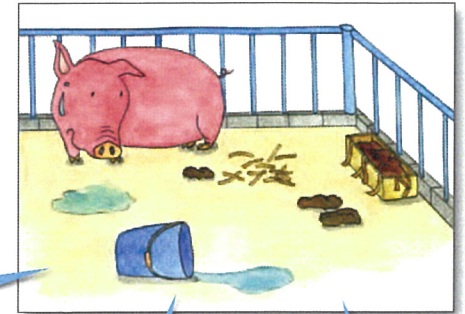
- 「ペット」……人間と一緒に遊んでいるとき／ひとりぼっちでかまってもらえないとき
- 「家畜」……衛生的できれいな場所で暮らしているとき／過密飼育で水が汚れて不衛生な状態のとき
- 「野生動物」……豊かな自然の中で暮らしているとき／自然環境が破壊され棲む場所や食べ物がなくなったとき



せっかく一緒に暮らして
いるのに…

一緒に遊んで
ほしいな

退屈だ…



ちゃんと世話を
してほしいな…

ボクたちが
棲む場所を
奪わないで



水が汚くて
病気になり
そうだ…

不潔で嫌だな…

車の音が
怖いよ…

食べ物が
無いよ…

このプログラムの学びで「共感する」こと

生きていること、生きるために必要なことについて考えてみると、動物も私たちと同じように「生きていて」「ニーズがあり」「感情がある」生き物なのです。

動物は人間と同じ言葉を話さないだけで、人間と同じように喜びも悲しみも、痛みも、恐怖も感じる存在です。